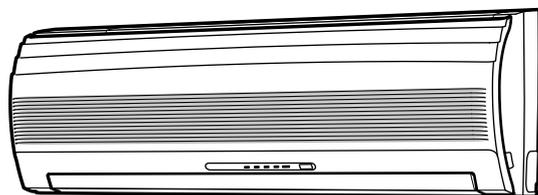


東芝パッケージエアコン 取扱説明書

壁掛形



形名

室内ユニット

AIK-P400H AIK-AP400H
AIK-P450H AIK-AP450H
AIK-P500H AIK-AP500H
AIK-P560H AIK-AP560H
AIK-P630H AIK-AP630H
AIK-P710H AIK-AP710H
AIK-P800H AIK-AP800H

●組み合わせ室外機はカタログを
ご覧ください。

形名（別売品）

リモコン

ワイヤードリモコン

RBC-AM1

ワイヤレスリモコン

RBC-ATX1

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
リモコンのなまえとはたらき	5
正しい使いかた	6
風向調節	8
知っておいていただきたいこと	9
ワイヤレスリモコンが使えないとき	9
お手入れ	10
故障かな？	12
もう一度お調べください	12
確認と点検	13
据付について	14
上手な使いかた	15
運転の設定条件	15
仕様	15
保証とアフターサービス	16

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室外機に付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方がかわられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
 次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表示	表示の意味
 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が ^{※1} 傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること」 ^{※2} を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
 ※2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼すること

据え付けには専門の知識と技術が必要です。
 お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。



自分で分解・改造・修理・移設をしないこと

火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
 修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへご依頼ください。



別売品は、必ず弊社指定の製品を使用すること

指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行うこと

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。



可燃性ガスが漏れるような場所を設置場所に選ばないこと

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。



長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないこと

体調悪化・健康障害の原因になります。



アース工事が正しくされているか確認すること

アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。
 確認方法については、据え付けをおこなった販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。



異常時（焦げ臭い、冷えない・暖まらない、内部に水や異物が入った等）は、運転を停止して、漏電ブレーカーを切ること

そのまま使うと、火災、感電の原因になります。
 修理をお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへご依頼ください。



空気の吹出口や吸込口などから物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしないこと

内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。



エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認すること

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。



配管工事が正しく行われているか確認すること

既設配管を使用される場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。正しく施工されていることを据付業者に確認してください。据付に関することは据付説明書をご覧ください。R410A専用のツール、配管部材を使用してください。専用の配管部材を使用していなかったり、据付けに不備があると破裂、けがの原因になります。

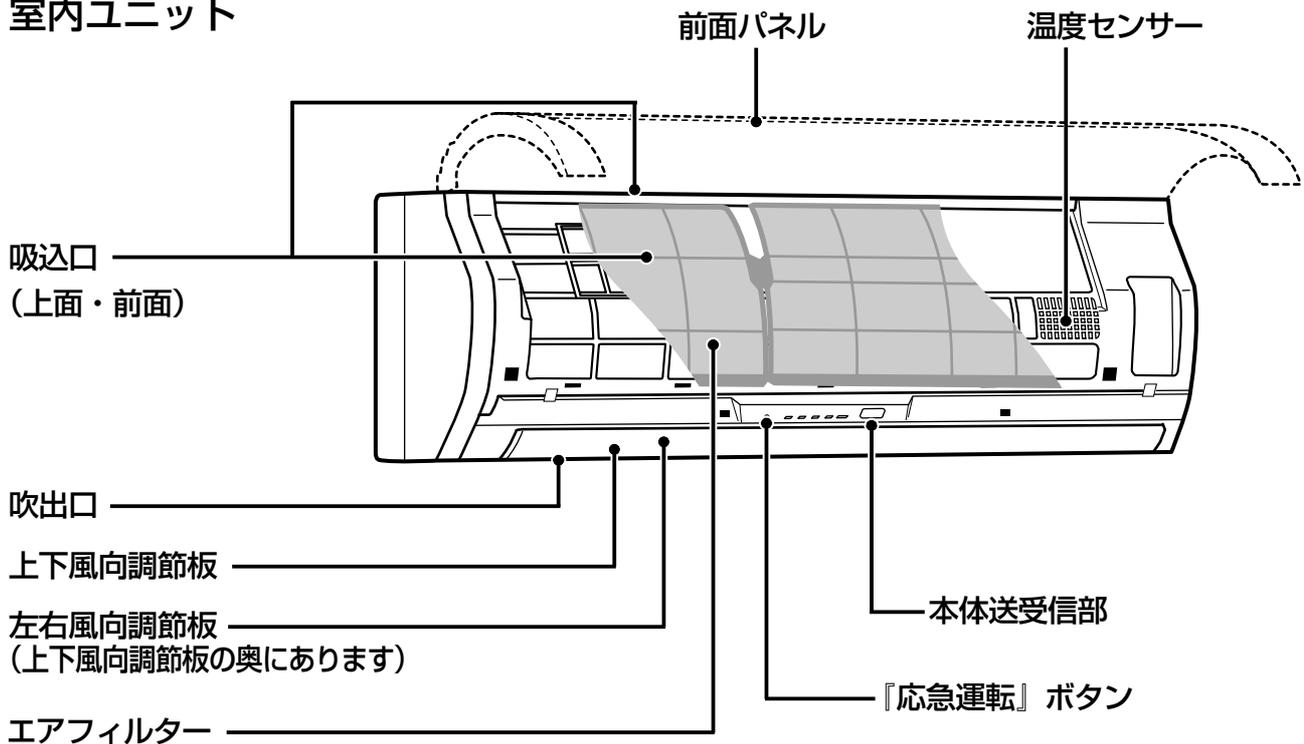


⚠ 注意

<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しないこと 品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かないこと ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>漏電ブレーカーが正しく取り付けられているか確認すること 漏電ブレーカーが正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>掃除をするときは、必ず運転を停止して漏電ブレーカーを切ること 内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>
<p>燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をすること 換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>濡れた手でボタンを操作しないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>エアコンの風が直接あたる場所で燃焼器具を使わないこと 燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にすること 故障、火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">エアコン専用回路になっているか確認すること</p>
<p>エアコン本体を水洗いしないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>正しい容量のヒューズ以外は使用しないこと 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">正しいヒューズを使用する</p>
<p>室外ユニットの上に乗ったり、物を載せないこと 落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しすること 水気が残っていると感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>
<p>可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないこと 発火の原因になります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らないこと 転倒などけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>1年に1度は、室外ユニットの据付台などが傷んでいないか点検すること 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>リモコン用乾電池は</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 極性表示[+]と[-]を間違えて挿入しないこと ● 充電しないこと ● 乾電池に表示されている「使用推奨期間」を過ぎて使ったり、使い切った乾電池をリモコンに入れて置かないこと ● 種類の違う乾電池や新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと ● 乾電池に直接ハンダ付けしないこと ● ショート・分解・加熱・火の中に投入しないこと <p>これらを守らないと、液漏れ、破裂などにより、やけど・けがの原因になることがあります。 もし液に触れたときは、水でよく洗い流してください。 器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かないこと 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	
<p>ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認すること 排水工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">ドレン排水を確認する</p>	

各部のなまえ

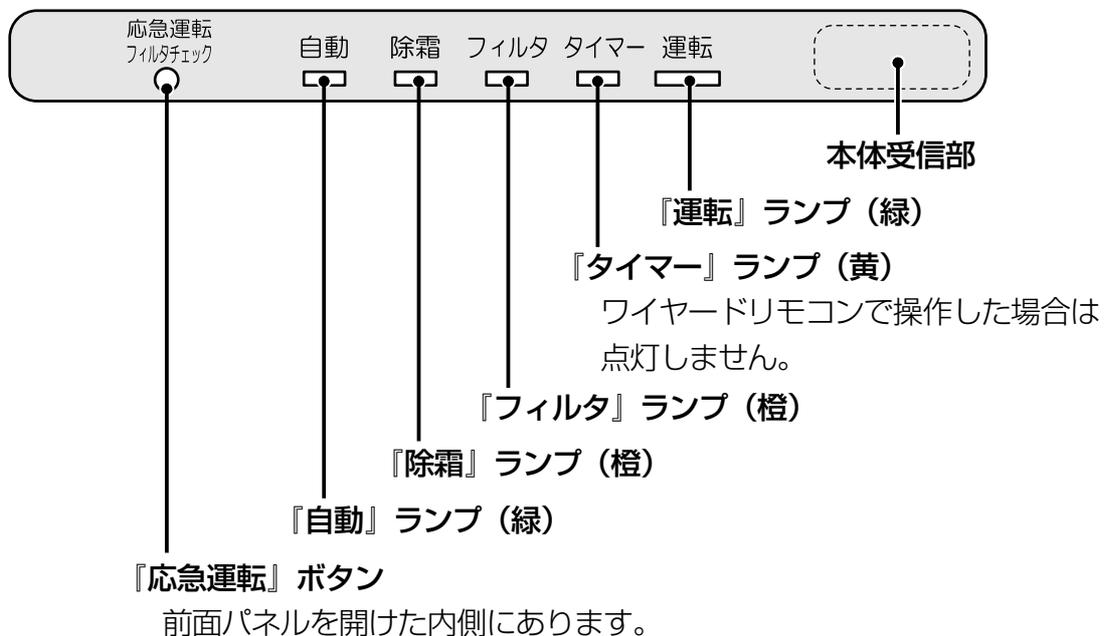
室内ユニット



本体表示部

運転のようすを表示します。

●ワイヤードリモコン使用時は、ワイヤレスリモコンでの受信部受け付けはできません。



手元リモコンレスでの「集中管理中」表示について

集中管理リモコン (RBC-SXCIP) などと組み合わせてご使用の場合、集中管理リモコン側の設定を『除霜』ランプ (橙) の点滅でお知らせします。

●集中管理リモコンとワイヤードリモコンを接続した時は、『除霜』ランプの点滅はありません。5ページをご覧ください。

集中管理リモコンの設定	『除霜』ランプ (橙)
後押し優先 (無表示)	消 灯
センター	1 Hz 点滅
運転禁止	5 Hz 点滅

リモコン(別売付属品)のなまえとはたらき

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

なお説明はワイヤードリモコン用です。ワイヤレスリモコン使用の場合は、ワイヤレスリモコンに付属した説明書をご覧ください。

設定温度表示

お好みの設定温度を表示します。

点検表示

点検モード中に表示します。

風量切換表示

お好みの風量モードを表示します。

風量表示
■ (微風)
■■ (弱風)
■■■ (強風)
自動

ドライ運転の場合は「自動」しか表示しません。

運転切換表示

お好みの運転モードを表示します。

●冷暖房兼用形

送風、冷房、ドライ、暖房、自動のいずれかを表示します。

●冷房専用形

送風、冷房、ドライのいずれかを表示します。

運転切換スイッチ

お好みの運転モードを表示選択します。(RBC-AS1はありません)

フィルターリセットスイッチ

「フィルター」表示をリセット(消灯)します。

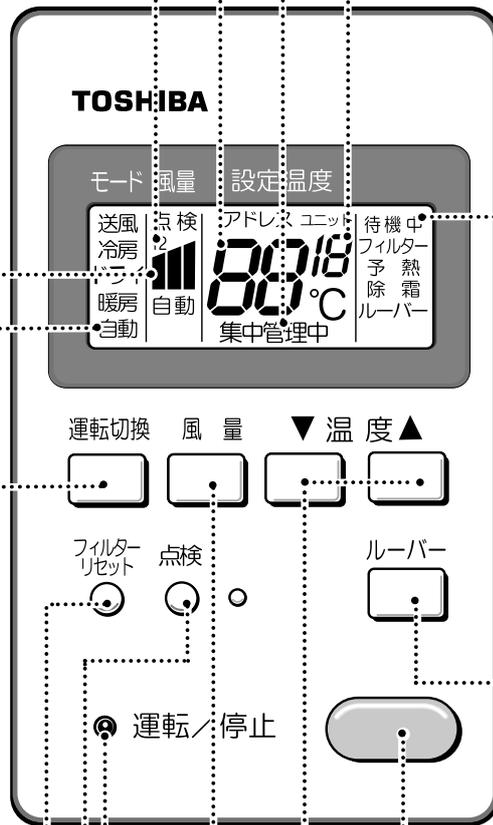
点検スイッチ

故障状況を示す点検番号を表示部に表示します。

運転ランプ

運転中に点灯します。

漏電ブレーカーを入れたときや停電後再び通電されたときには点滅しますが、運転を開始すれば点灯になります。



風量切換スイッチ

お好みの風量モードを表示選択します。

集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

ユニット表示

設定温度表示部に不具合の生じているユニット番号を表示します。

待機中表示

マルチタイプとしてお使いの場合、運転できないときに表示します。

フィルター表示

この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

予熱・除霜表示

暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。

ルーバー表示

吹出ルーバーが自動運転しているとき表示します。(運転を停止すると表示が消えます)

ルーバー運転スイッチ

オートルーバ付きエアコンをご使用のとき、エアコン運転中に吹出ルーバーが自動運転します。

運転/停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

設定温度スイッチ

室温調節をします。

▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。

おすすめ温度

冷房(26~28°C)

暖房(22~24°C)

「集中管理中」表示について

集中管理リモコン (RBC-SXCIP) などと組み合わせてご使用の場合、集中管理リモコン側の設定により、標準リモコンで操作できる内容と「集中管理中」の表示方法が変わります。

集中管理リモコンの設定	標準リモコンの「集中管理中」表示	標準リモコンで操作できる内容
後押し優先 (無表示)	消 灯	標準リモコン、集中管理リモコンの両方から操作でき、後から操作した内容で運転します。
センター	点 灯	運転/停止のみ操作できます。
運転禁止	点 滅	操作できません。

お願い

- 点検スイッチは点検チェックに使用します。通常は操作しないでください。

正しい使いかた

冷房専用形は、暖房、自動運転ができません。

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。

次回から 運転/停止 ボタンを押すだけでリモコンに表示されている運転を開始します。

準備

漏電ブレーカーを入れる

- 運転ランプ(赤)が点滅します。

お願い

- 使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後/運転開始をするときは、12時間以上前に漏電ブレーカーを入れてください。

運転のしかた

画面は自動運転時の表示です。

1

運転切換



を押して「運転の種類」を選ぶ

- ボタンを押すたびに運転表示が変わります。

冷・暖房兼用形



冷房専用形



2

を押して運転する

- 運転ランプが点灯します。



運転/停止

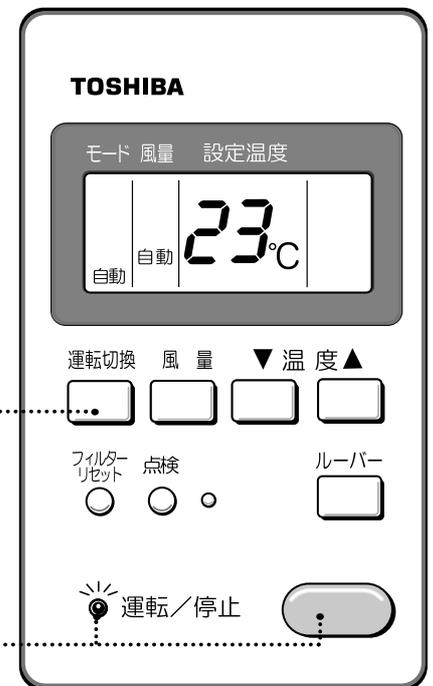
3

を押して運転を止める

- 運転ランプが消えます。



運転/停止



冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。

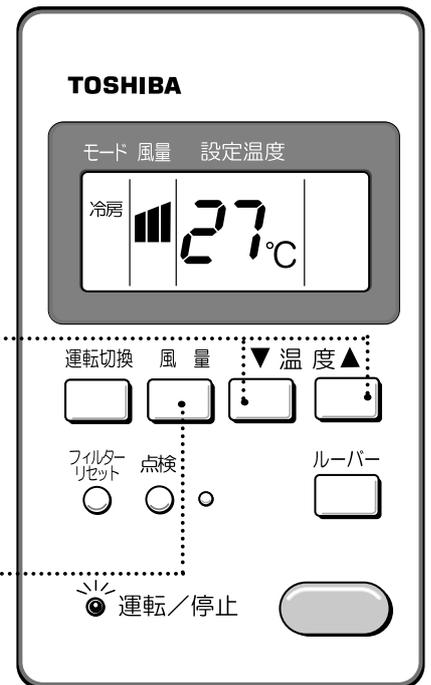
温度を変えるとき

- ▼温度▲ を押して選ぶ
- 温度▲ を押すと温度が上がります。
 - 温度▼ を押すと温度が下がります。

おすすめの設定温度

暖房	22~24℃
ドライ	室温より2~3℃低め
冷房	26~28℃

画面は冷房運転時の表示です。



風量を変えるとき

風量 を押して選ぶ

- 押すたびに表示が変わります。

	選べる風量
自動・ドライ のとき	自動のみ
冷房・暖房 のとき	

暖房のとき

- 室内送風機は停止したままで3~5分間予熱運転した後、温風を吹き出します。
- お部屋の温度が設定温度に達して、室外機が停止しているときは超微風となり風量が極端に小さくなります。また、除霜運転中は冷風が出ないようにするため送風機が停止し、「予熱」、「除霜」が表示されます。

運転停止、再運転するとき

- 停止後再運転するときは、機械保護のため約3分間運転しません。
- 運転を停止すると運転ランプとルーバー表示は消え、他の表示はそのまま残ります。

風向調節

それぞれの運転と組み合わせてお使いください。

空気の特徴として
冷たい空気は下にたまり、
暖かい空気は上にたまります

1

ルーバー
□ を押す。

- 水平ルーバーが自動運転します。

お好みの位置でルーバーを止めたいとき

ルーバー
□ を押す。

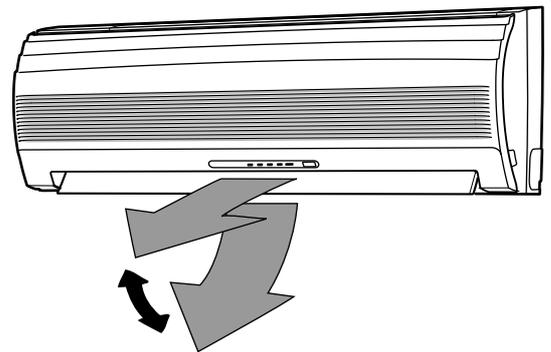
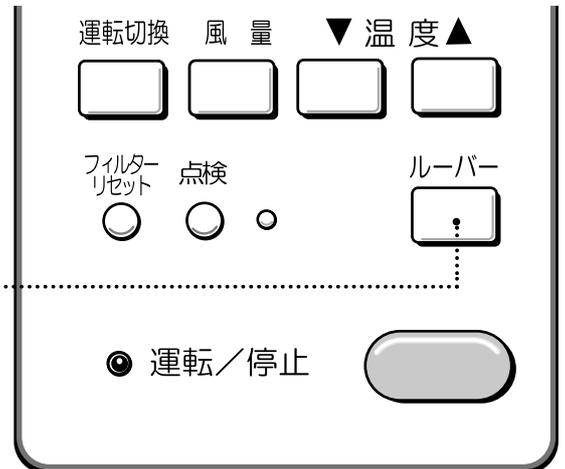
- 水平ルーバーはボタンを押してもすぐ止まりません。停止位置を加減してスイッチを押してください。

2

水平ルーバーの自動運転を停止する場合は、もう一度ルーバー
□ を押す。

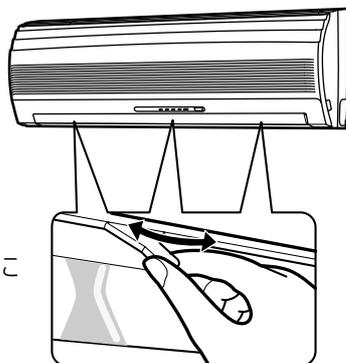
お願い

- 水平ルーバーを直接手で動かすことはやめてください。故障の原因になります。
- 水平ルーバーの向きは、リモコンのルーバーボタンで切り換えてください。



左右風向調節

室内ユニットの吹出口にある左右風向調節のつまみを
手で動かして調節する



- 左、中、右別々に調節できます。

知っておいていただきたいこと

新冷媒採用

- フロンガスによるオゾン層破壊を防止するため、新冷媒 HFC (R410A) を採用した新しいエアコンです。

運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する12時間以上前に漏電ブレーカーを入れます。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。
- 運転開始時、すぐには風は出ません。室内熱交換器が暖まってから温風が吹き出します。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外機に霜が付いた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転(約2~10分間)になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット、室外機の送風機は停止します。

高温多湿時の運転について

- 高温多湿時での運転中に、露が付くのを防止するため能力を下げた運転を行うことがあります。

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、漏電ブレーカーを入れたときには約3分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 停電後通電が再開したときは受信部の運転ランプが点滅してお知らせします。

保護装置がはたらくとき

冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- エアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

お願い

- 保護装置が作動したときは、漏電ブレーカーを切り原因を取り除いてください。原因を取り除かないで運転しますと、故障することがあります。
- エアフィルターが取り付けられているか確認してください。エアフィルターが取り付けられていませんと、空気熱交換器などにホコリがつまり、水漏れの原因になることがあります。

ワイヤレスリモコンを使用されている場合でのワイヤレスリモコンが使えないとき(応急運転)

ワイヤレスリモコンは別売です。室内ユニットに同梱されていません。ワイヤレスリモコンが見つからないときやワイヤレスリモコンの電池が切れたときは、室内ユニットで応急運転ができます。

● 運転するとき

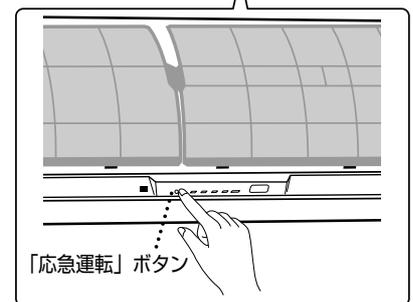
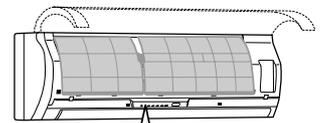
『応急運転』ボタンを1回押すと自動運転になります。

● 停止するとき

『応急運転』ボタンをもう一度押す。

お知らせ

- 『フィルタ』ランプが点灯しているときに自動運転する場合は、はじめにフィルターのお手入れをし、『応急運転』ボタンを2回押してください。1回目は『フィルタ』ランプ消灯のため、2回目は自動運転の開始のためです。
- 温度は自動設定されます。



お願い

- 『応急運転』ボタンを10秒以上押し続けしないでください(押し続けるとサービス時やエアコン移設時に使う、強制冷房運転になります)。

お手入れ

こまめなお手入れと早めの点検がエアコンを長持ちさせ、電気代の節約にもなります。

本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼってふいてください。



通常のお手入れ 点検・お手入れの前には、リモコンで運転を停止して漏電ブレーカーを「切」にしてください。

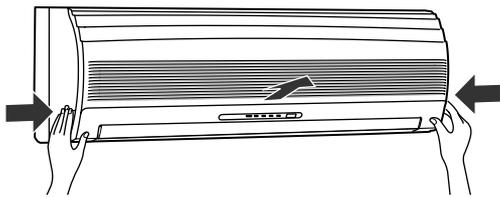
⚠ 注意

- 前面パネル・エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らないこと
転倒などけがの原因になることがあります。
- 前面パネル・エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しすること
水気が残っていると感電の原因になることがあります。
- 前面パネルをはずした状態で、本体の金属部にさわらないこと
けがの原因になることがあります。

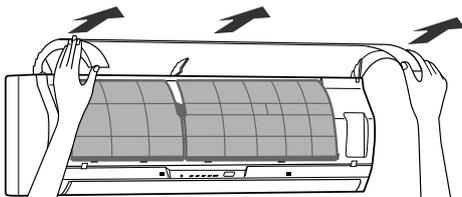
前面パネル

1 前面パネルを引いて、水平になる位置まで引き上げる

- 前面パネルの左右下側を同時に引いて、上へ開ける。

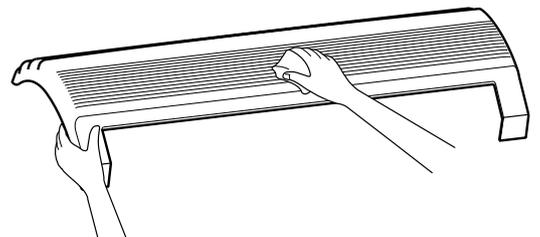


2 そのまま手前に引き、取りはずす

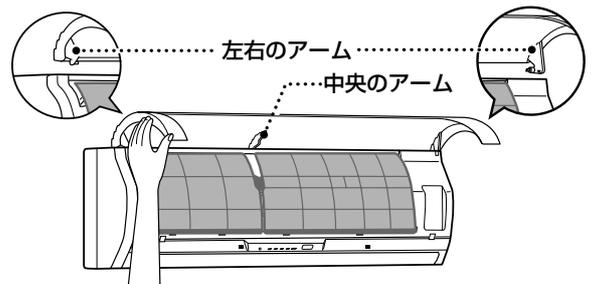


3 やわらかいスポンジやタオルで水洗いをする（金属たわしなど硬いものは使わない）

- 金属たわしや硬いスポンジなどで前面パネルをお手入れすると、表面にキズが付き、前面パネルの塗装がはがれることがあります。
- 水洗いの後は日陰でよく乾かしてください。
- ひどい汚れは台所用中性洗剤で落とし、水ですいでください。
- 前面パネルの吸込口を強く押さないでください。吸込口が割れる恐れがあります。

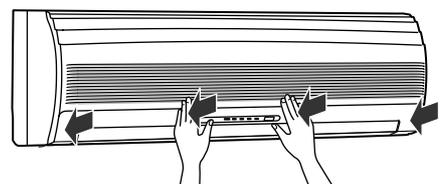


4 前面パネルの左右のアームを本体両端の軸の溝に合わせて止まる位置まで押し、中央のアームを押し込む



5 中央のアームが入っていることを確認し前面パネルを閉める

- 前面パネルの下側の矢印部（4カ所）を押し閉める。



リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。
故障の原因となります

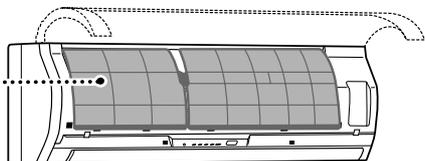
お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品をいためます。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはげたりすることがあります。

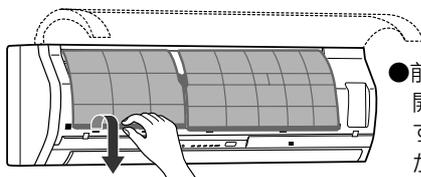
エアフィルター

- エアフィルターの目づまりは冷暖房効果を下げます。
- 『フィルタ』ランプが点灯したら必ずお手入れしてください。お手入れ後『応急運転』ボタン（フィルタチェックボタン）を1回押すと、『フィルタ』ランプの点灯が消えます。
- 『フィルタ』ランプが点灯しなくても冷暖房効果が下がっていると感じたらエアフィルターのお手入れをしてください。

エアフィルター.....

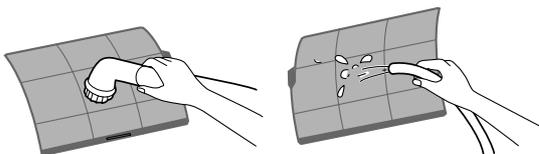


- 1 カクッと止まる位置まで前面パネルを開け、エアフィルター中央下部の凸部を少し持ち上げて下に引き出す

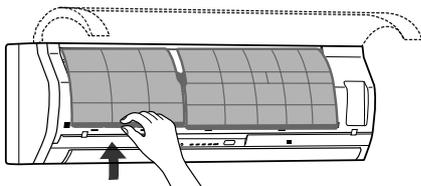


- 前面パネルを更に開くとアームがはずれて落ちる恐れがあります。

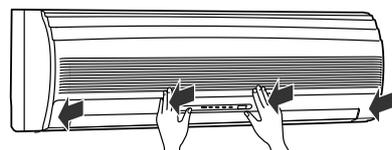
- 2 ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする
- 水洗いしたときはよく乾燥させてください。



- 3 エアフィルターを差し込む
- 本体に差し込んだ後、エアフィルター下部をフィルター押さえにはめ込みます。



- 4 前面パネルを閉める

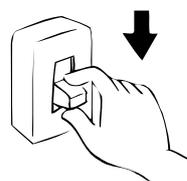


長期間使わないとき

- 1 3~4時間、送風運転をして内部を乾燥させる



- 2 リモコンで運転を停止し、漏電ブレーカーを「切」にする

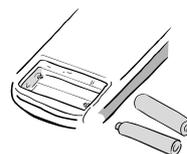


- 3 エアフィルターのお手入れをする



- 4 ワイヤレスリモコンを使用のときは電池を抜く

- 入れたまま放置すると電池の液漏れや放電の恐れがあります。



再び使い始めるとき

- 1 エアフィルターが汚れていないか、取り付けられているか確認する

- 2 室内ユニット・室外機のまわりがふさがれていないか確認する

- ふさがれていると性能が低下し、運転できなくなることがあります。

- 3 ワイヤレスリモコンを使用のときは電池を入れる

- 4 漏電ブレーカーを「入」にする

故障かな？(心配しないで)

次のような状態にはそれぞれ理由があり心配ありません。そのままご使用ください。

このようなときには	説明
本体表示部の『運転』ランプがゆっくり点滅している	●運転中や停止中にかかわらず、停電のあとや、漏電ブレーカーを「入」にしたとき、点滅します。 →点滅を止めるときは、運転/停止ボタンを押してください。運転が必要ない場合は停止させてください。タイマー予約中はタイマー予約をもう一度設定しなおしてください。
運転/停止ボタンを押しても約3分間運転しない	●再運転や漏電ブレーカーを「入」にした直後は、機械を保護するために3分間は運転しません。冷房・ドライ運転時は、この間室内ユニットの送風機だけを運転します。
湯気が出る	●冷房運転中の室内ユニットや、霜取り運転中の室外機から湯気が出る場合があります。
暖房運転してもなかなか足もとが暖まらない	●天井の高いお部屋に据え付けたり、障害物があると、温風をさえぎり、足もとが暖まらないことがあります。障害物を取り除いてください。 ●エアフィルターが汚れていないか確認してください。
室内ユニットから変な音がする	●ブシュー音は、運転中霜取りのために冷媒の流れが切り換わる音です。 ●ピシピシ音は、温度の変化により部品が伸び縮みするときの音です。 ●シュルシュル音、グググ音は冷媒の流れる音です。 ●排水管付近からのゴボゴボ音は室外の空気が排水管より室内に流れる音です。特に気密性の高い部屋で換気扇を使用したときに発生します。
室外機から変な音がする	●ブシュー音は、暖房運転中に停電があったときや霜取り運転のとき冷媒の流れが変化する音です。
暖房運転時に霜がつく 室外機から水が出る	●暖房運転時、室外機に霜がつくことがあります。暖房効果を高めるために、自動的に霜取り運転(約2～10分間)をします。そのときの霜が溶けた水です。 ●霜取り運転中、室内ユニット・室外機は風が止まります。
風量が“自動”でないときに風量に変化する	●暖房運転中、吹出温度が低下したとき肌寒さを防ぐために室内風量に変化したり、停止することがあります。 ●冷房運転中に、室内風量に変化することがあります。
部屋がにおう	●壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいるにおいが出てくるためです。
水平ルーバーが開閉する	●暖房運転中に室温や外気温が高いときは、水平ルーバーが一度閉じて記憶した位置に動くことがあります。
エアコン背面に露が付く	●背面についた露を集めて排水する構造になっています。

もう一度お調べください

このようなときは	説明	参照ページ
エアコンが運転しない 本体表示部の『運転』ランプが点灯していない。	●漏電ブレーカーが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？	— —
冷房・暖房が弱い	●エアフィルターが汚れていませんか？ ●設定温度・風量切換・風向調節が適切ですか？ ●風量切換が微風で長時間運転していませんか？ ●室外機の吸込口や吹出口がふさがれていませんか？ ●窓や戸などが開いていませんか？ ●ドライ運転になっていませんか？	11 — 6.7 — — 6.7
途中で止まってしまう	●室外機の通風を邪魔していませんか？ ●運転条件からはずれていませんか？ ●切タイマー予約時間になったのではありませんか？	— 15 —

このようなときは	説明	参照ページ
途中で止まってしまう 本体表示部のランプ（『タイマー』、『予熱・除霜』、『運転』）が速く（1秒間に約5回）点滅している。	●電圧の変化、吸込口がふさがれているなどで機械に無理がかかり、保護装置が働いています。 このような場合、下記処置をお願いします。 →漏電ブレーカーを「切」にして約30秒後に「入」にする。リモコンの運転/停止ボタンを2回押す。 →それでもなお、早く点滅しているときは、販売店へご連絡ください。	—
運転/停止ボタンを押しても運転しない	●入タイマー予約になっていませんか？ →運転/停止ボタンをもう一度押してください。	—
リモコンの表示がうすい 表示しない（ワイレスリモコン時）	●電池の向き（+，-）が逆ではありませんか？ ●電池の寿命が終わりではありませんか？	— —
運転/停止ボタンを押しても受信音がしない（ワイレスリモコン時）	●リモコン送信部を本体受信部に向けてボタンを押しましたか？ →リモコン送信部を本体受信部に向けて続けて2回押してください。	—
運転/停止以外のボタンを押しても受信音がしない （ワイレスリモコン時）	●リモコン送信部を本体受信部に向けてボタンを押しましたか？ ●運転表示  が表示されていないときは、運転/停止ボタンを押して（  が出る）から、該当のボタンをもう1度押してください。 ●運転表示  が表示されているときは、該当のボタンをもう1度押してください。リモコン表示が、お望みの表示であるか確認してください。	— — —
風向ボタンを押しても上下風向調節板が動かない	●入タイマー予約になっていませんか？ ●再運転や漏電ブレーカーを「入」にした直後ではありませんか？ （約20秒待ってから操作してください）	— —
風量ボタンを押しても風量表示が変わらない	●ドライ運転中ではありませんか？ （ドライ運転の風量は“自動”のみです。）	7
風量が“自動”にしかならない	●自動運転中ではありませんか？	6
温度ボタンを押しても設定温度表示がされない	●自動運転中ではありませんか？	6,7

確認と点検

●エアコンに不具合が発生した場合に、ワイヤードリモコン使用の場合はリモコンの点検スイッチで故障状況を示す点検番号が確認できます。修理を依頼する前に、次の手順で確認し、エアコンの症状とあわせて販売店にご連絡ください。

1. リモコンの点検スイッチを1～2秒押すと、「点検」の表示が出て、設定温度表示部に、ユニット番号と点検番号が表示されます。
2. ユニット番号は不具合の発生している室内ユニットの番号を示します。
3. 点検番号は、次のように表示します。

■不具合が発生していない場合 ■不具合が1つ発生している場合 ■不具合が2つ発生している場合

点検 — —

点検 1 00

点検 1 00 → 点検 2 14

短時間しか表示しませんので読めなかった場合は再度点検スイッチを押してください。

下の26種類のどれかが表示されます。

0C 0b 0d 04 08 09 11 12 14 15 17 18 19 1b 1c 1d 1e 1f 20 21 8b 97 98 99 b5 b6



0C 0B 0D 04 08 09 11 12 14 15 17 18 19 1B 1C 1D 1E 1F 20 21 8B 97 98 99 B5 B6

●ワイレスリモコン使用の場合、エアコンに不具合が発生すると『運転』ランプ、『除霜』ランプ、『タイマー』ランプが点滅します。エアコンの症状とあわせて各ランプ（緑・橙・黄）の点滅状態も販売店にご連絡ください。

点検整備について

●ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになりますと内部が汚れ、性能が低下することがありますので、10～11ページの日常のお手入れとは別に点検整備(有料)をおすすめいたします。

据付について

据え付けについて

⚠ 警告

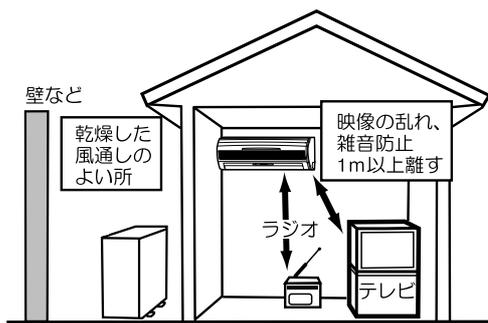
据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼すること

据え付けには専門の知識と技術が必要です。お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に設置されていないか確認すること

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

- 霜取り、除湿の水はけのよいところに設置してください。
- 次のような場所には設置しないでください。
 - ・テレビ、ステレオ、ラジオなどが1m以内にあるところ。1m以上であっても受信感度の弱い場合は、雑音小さくなるまで離してください。
 - ・高周波機器（業務用マシン、業務用マッサージ器等）無線機器等があるところ。誤動作します。
 - ・油、蒸気、油煙や腐食性ガスの発生するところ、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地のような硫化ガスの発生するところ。特殊な場所で使用すると故障の原因となります。ご使用の場合は特別な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。
 - ・海岸地区、ビルディング上階部など常時強風の当たるところ。
 - ・クレーン車、船舶など移動するものへの設置。
 - ・室外機に関しては、室外機の説明書をご覧ください。
 - ・電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯を設置してある部屋に据え付ける場合は、事前に販売店へご相談ください。



移設について

⚠ 警告

エアコンを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへ依頼すること
据え付け不備があると、感電・火災の原因になります。

パッケージエアコンを移設される場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、移設の場合は実費をいただきます。

アースの設置について

⚠ 警告

アース工事が正しくされているか確認すること

法律によりD種設置工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続されていないことを確認してください。
- 万一の感電事故を防止するため、アースは必ず取り付けてください。アースが取り付けられていないと、室外機表面に触れたとき、電気を感じる場合があります。
- また、ノイズを吸収するためにもアースの取り付けは必要です。

電気工事について

⚠ 注意

漏電ブレーカーが取り付けられているか確認すること

法規上漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

正しい容量の漏電ブレーカー以外は使用しないこと

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもととなります。
- 室外機の吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所に設置してください。
- エアコン運転中に異常音がある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

積雪や氷結にもご配慮を

- 積雪地では、室外機の吸込口や吹出口が雪でふさがれ、暖まりにくくなったり故障のもとになることがあります（詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください）。
- 寒冷地では、氷結防止のため、除霜水がたまらず、円滑に流れるように配慮してください。氷結すると、暖まりにくくなったり、故障の原因になることがあります。

上手な使いかた

電気代の節約と快適な冷暖房運転をしていただくために

エアフィルターのお手入れ

- エアフィルターの掃除はこまめに必ずお手入れしてください。
- エアフィルターの目づまりは、冷暖房効果を下げます。



窓や戸はこまめに閉めて

- 冷風・温風がお部屋から逃げないようにしてください。

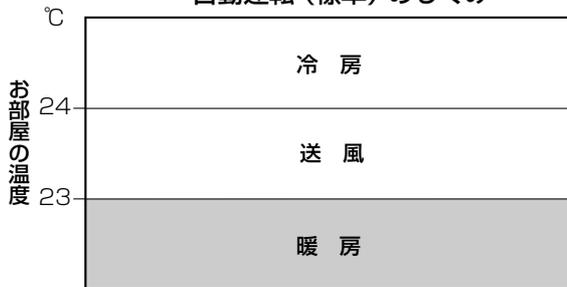
運転の設定条件

自動運転(標準)を選んだときの運転内容

- お部屋の温度によって、適切な運転の種類・設定温度・風量切換・風向を自動的に選びます。
- 運転開始時、自動的に選んだ内容は、室温が設定温度に達して室外機が15分以上停止したときなどに、再選定されます。

(お部屋の温度：室内ユニットの吸込口付近温度)

自動運転(標準)のしくみ



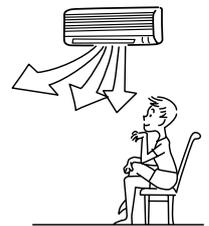
冷やしすぎ、暖めすぎないように

- 健康上よくありません。特に身体の不自由な方や、お子様、お年寄りには注意してあげましょう。
- おすすめの設定温度

暖房	22~24℃
冷房	26~28℃
ドライ	お部屋の温度より2~3℃低め 設定温度がお部屋の温度より高いと、送風だけになり除湿効果がありません。

室温がムラのないように

- 水平ルーバーと、左右風向調節で風向を調節してください。また吹き出した風が直接長時間当たりますとお体によくありません。



運転条件

下表の条件以外で運転すると、保護装置が働き運転できないことがあります。

また、故障の原因になることがあります。

冷房運転 ドライ運転	外気の温度	約-5~43℃
	部屋の温度	約21~32℃
	部屋の湿度	80%以下 80%をこえた状態で長時間運転すると室内ユニットの表面に露がつき、水滴が落ちることがあります。
暖房運転	外気の温度	約-15℃~21℃
	部屋の温度	約28℃以下

仕様

室内ユニット

形名	AIK-P400H AP400H	AIK-P450H AP450H	AIK-P500H AP500H	AIK-P560H AP560H	AIK-P630H AP630H	AIK-P710H AP710H	AIK-P800H AP800H
種類	冷暖房兼用形						
機構成	分離形						
凝縮器の冷却方式	空冷形						
送風方式	直接吹出形						
運転音(強)	(dB) 39	(dB) 39	(dB) 39	(dB) 39	(dB) 42	(dB) 45	(dB) 45
運転音(弱)	(dB) 36	(dB) 36	(dB) 36	(dB) 36	(dB) 38	(dB) 41	(dB) 41
運転音(微)	(dB) 33	(dB) 33	(dB) 33	(dB) 33	(dB) 34	(dB) 36	(dB) 36
総質量	(kg) 12						
外形寸法(高さ)	(mm) 298						
外形寸法(幅)	(mm) 998						
外形寸法(奥行)	(mm) 208						

- 製品仕様は改良のため変えることがあります。
- 室外機と組み合わせたときの冷暖房能力・電気特性は、製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 組み合わせ室外機はカタログをご覧ください。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル
0120-1048-41

お取り扱い・お手入れなどのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル
0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048

FAX 03-3425-2101 (365日 8:00~20:00受付)

電話受付：365日 24時間受付

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン	
形名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お名前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地